

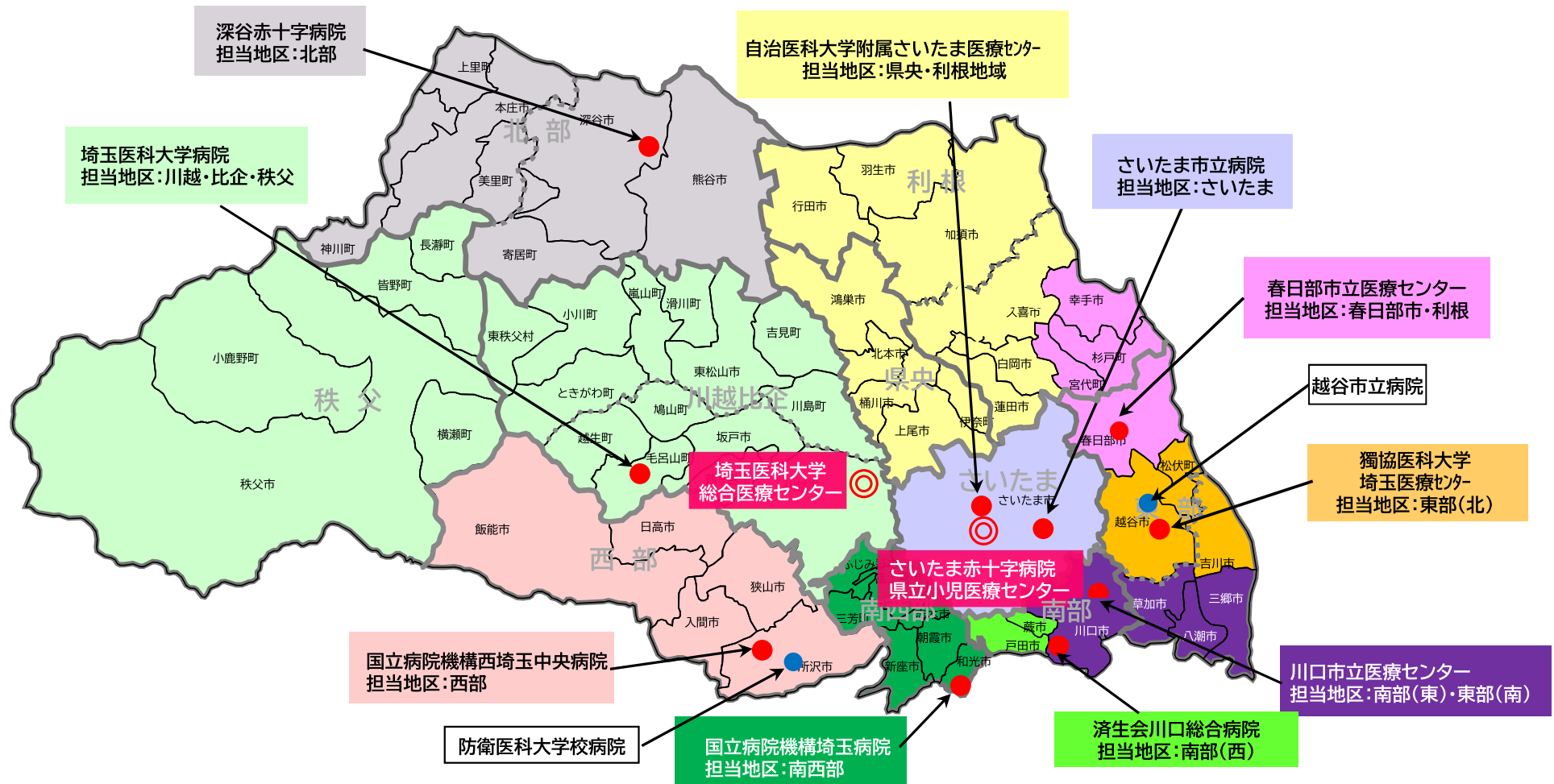
北部地域の周産期医療の現状について

埼玉県の周産期医療体制について

埼玉県内の周産期母子医療センター配置図(R6. 10. 1現在)

総合周産期母子医療センター2か所、地域周産期母子医療センター10か所の計12か所体制。

周産期母子医療センターは地域に偏在があり、北部地域は深谷赤十字病院のみとなる。



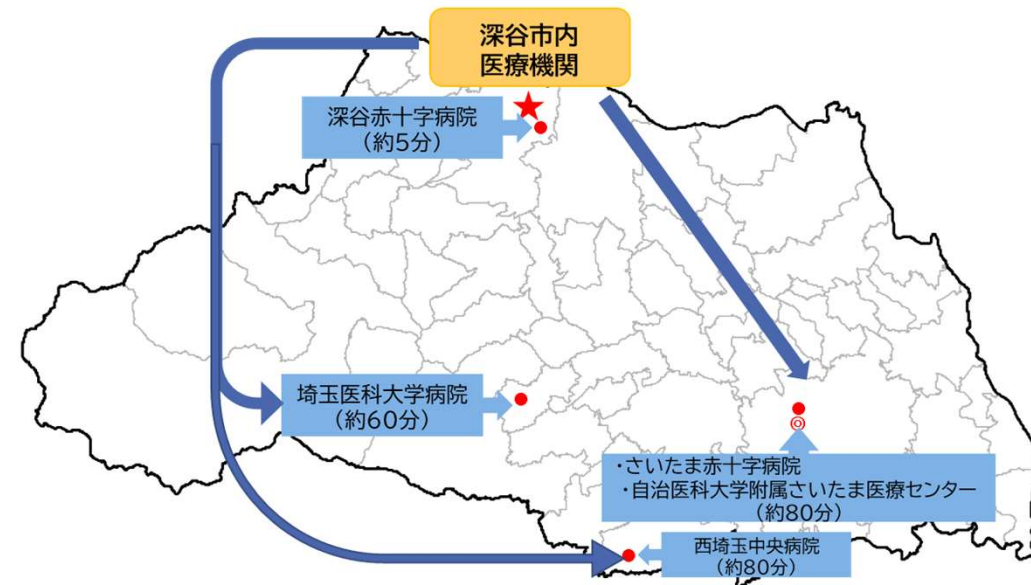
北部医療圏からの転院搬送の現状

母体・新生児搬送コーディネーター事業を介した母体搬送の状況

北部地域は地理的要因により搬送所要時間は県平均35分と比較し、2倍の71分となっている。
令和5年度は16件のうち、自治医科大学附属さいたま医療センターへの搬送が5件、次いで埼玉医科大学病院、さいたま赤十字病院、西埼玉中央病院が各2件、さいたま市立病院、川口市立医療センター、防衛医科大学校病医院、越谷市立病院が各1件であった。(1件は最終的に深谷赤十字病院で対応)

保健医療圏	R4出生数	構成比	転院搬送数	保健医療圏別	
				搬送所要時間	
				合計時間(分)	平均時間(分)
東部	6,920	16%	52	1,450	28
川越比企	3,957	9%	16	615	38
北部	2,537	6%	16	1,135	71
西部	4,032	9%	21	950	45
さいたま	9,596	22%	41	1,077	26
南部	5,065	12%	54	1,475	27
県央	3,063	7%	29	1,045	36
利根	3,127	7%	44	1,885	43
南西部	4,784	11%	32	1,110	35
秩父	370	1%	0	0	0
計	43,451	100%	305	10,742	35

[参考]
深谷市内の産科医療機関からの他のセンターへのアクセス例



※搬送所要時間は搬送元から搬送先までの距離を元にGooglemapで渋滞の影響を受けない時間の平均で算出

妊娠6か月以降の母体搬送の状況

母子保健委員会(医師会)の研究資料における妊娠6か月以降の母体搬送(転院搬送・自宅搬送)件数では、北部ブロック管轄内での搬送割合が県平均を下回る。

搬送元	対象消防本部	R5			R4			R3		
		搬送件数	うち管轄内搬送	割合	搬送件数	うち管轄内搬送	割合	搬送件数	うち管轄内搬送	割合
北部ブロック	深谷市消防本部 行田市消防本部 秩父消防本部 熊谷市消防本部 児玉郡市広域消防本部	37	5	14%	106	20	19%	116	16	14%
東部ブロック	埼玉東部消防組合消防本部 蓮田市消防本部 三郷市消防本部 越谷市消防本部 草加八潮消防局 羽生市消防本部 吉川松伏消防本部 春日部市消防本部	241	74	31%	299	67	22%	265	58	22%
西部ブロック	埼玉西部消防本部 川越地区消防局 比企広域消防本部 朝霞地区一部事務組合埼玉県南西部消防本部 西入間広域消防組合消防本部 坂戸・鶴ヶ島消防組合消防本部 入間東部地区消防組合消防本部	318	132	42%	425	169	40%	403	152	38%
南部ブロック	埼玉県央広域消防本部 蕨市消防本部 上尾市消防本部 さいたま市消防局 戸田市消防本部 川口市消防本部	436	236	54%	320	122	38%	360	230	64%
埼玉県計		1,032	447	43%	1,150	378	33%	1,144	456	40%

出典:母子保健委員会(医師会)令和5年研究調査